

(特非) 荒川クリーンエイド・フォーラム

荒川流域河川敷の清掃活動、 ゴミ減量の普及啓発活動

イベントの 延べ参加者数	10,447 人
回収した ゴミ袋数	7,051 袋 (45 リットル)
活動の全体目標 に対する達成度	90%



水際には容器包装類等が大量に散乱

◆成果と工夫したポイント

●成果

- ・荒川クリーンエイド実施 162 会場、参加者のべ 10,447 名。
- ・活動内でのマイボトル持参キャンペーン 95 会場、参加者のべ 6,384 名。
- ・これまで以上にマイボトルを持参しようと思った人 84%。

●工夫

ゴミ減量を啓発する説明ツールは、写真やグラフを用いて、屋外の現場でも視覚的に理解されやすくした。

課 題

荒川河川敷には、私たちの消費生活を反映した容器包装類などのゴミが特に多く、上流側や街中から漂流・漂着し、いつまでたってもなくなる。

目 標

- ・川ゴミ拾いの活動を周知し、活動の輪を広げる。
- ・川ゴミ拾い参加者には、日頃からもゴミ減量を意識したエコライフの実践を促す。
- ・川ゴミの問題を知らない人にも、現状の課題とその対策の必要性を伝える。

活動内容

- ・広報ツール等で活動を周知し、ゴミ拾い参加者を募った。
- ・ゴミ拾い参加者に対しては、事前にマイボトル持参を推奨し、各会場において説明用のツールを用意し、ペットボトルゴミの現状を伝え、日頃からゴミ削減に向けたエコライフの実践を啓発した。
- ・河川敷利用者に対して、ゴミ持ち帰りを伝えるチラシを用意し配布した。
- ・活動成果をとりまとめた報告集を制作・発行し、広くゴミ調査結果をフィードバックした。



説明ツールを活用して
ゴミ減量を啓発

達成できなかったこと

準備期間不足のため、河川敷利用者（主に釣り人たち）へ、ゴミ持ち帰りを伝えられるような共同ゴミ拾いイベントが実現できなかった。

今後の展望

川ゴミ削減のために日常生活からのゴミ減量の啓発をさらに推進する。他の河川や、街・海で清掃活動をしている団体とも連携する。